

生まれてはじめて自分で選んだ、生きる場所 ～文筆家になって伝えたい事～



八子 勇人さん

【プロフィール】

横浜生まれ、宮城育ち。
2016年まで大手企業に務める。
2019年2月に移住。
文筆家。絵本作家。サービスコンサルタント
としても働いている。

文筆家を始めたきっかけは、歴史上の偉人のような「自分」「個人」というような小さな枠にとらわれない視点で物事を考えることのできる人や、世の中の価値観やお金ではなく自分のやりたいという想いを手がかりに仕事を決めて人生を歩んでいる人に憧れたからです。これまで本や物語を読んだときに自分の考えや生き方が変わる経験がありました。人の生き方に影響を与えられる人になりたいと決心し、2016

年にそれまで勤めていた会社を辞め、一生をかけてやれる仕事として文筆家を目指すようになりました。

移住までの流れはこうです。都会の暮らしに疑問を抱き、移住を考えて、自転車で北海道から沖縄まで移住先を探す旅に出ました。途中で訪れた香川県のゲストハウスのオーナーに自転車好きと勘違いされ、当初のルートには入っていない大三島を勧められました。そこで大三島を訪れ、実際に現地の生の声を聴きました。最終的に大三島に決め、2019年2月に移住しました。

東京には見られない美しい自然と、その自然を残し、島の文化とともに生きている人々は、気さくで温かい人たちがかりです。大三島に移住してきた人とは話が合い、みなさんそれぞれに自分の生き方をしっかりと考えているところに共感しました。

人は自分に何を望んでいるかということばかりを考えて行動していると、自分を偽り続ける苦しい人生になります。他の何かに頼るのではなく、「自分の信じる道を進んでいける強い心」が育つような作品を子どもたちに届けたいです。

